

I. 薬局・医療機関関連

I. 診療報酬、薬価は今回も引き下げ

2020年度診療報酬改定の改定率は、**薬価が0.99%マイナス、材料価格は0.02%引き下げ、本体部分は0.55%の引き上げ**となった。本体部分のうち0.08%は消費税財源を活用した救急病院の勤務医の働き方改革に対する特例対応としている。医師サイドとすれば前回改定の**0.55%プラス**と同水準の確保、財務省サイドとしては消費税による特例を除くと**0.47%**と過去2回よりも増加分を少なくできたという説明ができる決定になった。

II. 病院ダウンサイジングに支援金

財務相と厚労相の大臣折衝で、**病床削減に84億円の公費を投入**することが決まった。稼働病床の10%以上を削減することを条件に、病床があった場合に得られた利益を補填する。利益の補填であり、用途は問われない。地域医療構想が遅々として進まない中、直接資金を投入することで医療機関に決断を促したい考えである。

III. 外来定額負担範囲を拡大

中医協は、19年12月11日の総会において、現在特定機能病院と400床以上の地域医療支援病院に課せられている紹介状なし患者に対する外来時の定額負担金の徴収に関して、**対象の病院を200床以上の地**

域医療支援病院に広げる方針を固めた。対象を拡大し、病院と診療所の役割分担をより明確にするとともに、勤務医の負担軽減を図っていく考えだ。

IV. 再編統合名指し病院、結論は延期に

厚労省は公立病院や公的病院などで診療実績や他の医療機関との地理的な競合で存在意義が疑問視されている施設424病院に関し、再編統合をする場合は2020年9月、しない場合は2021年3月までに地域と見直しに関する協議を行うよう求めていたが、この期限に関し2020年夏に出される骨太の方針に記載する方針に改めた。夏発表の骨太の方針に記載されるため、**2020年9月までという期限は、事実上延期**となる。

V. オンライン服薬指導、点数具体化検討

薬機法改正によりオンライン服薬指導の範囲が広がるが、診療報酬改定においても在宅医療を受ける患者と、それ以外に分けて調剤報酬点数を設定する流れで検討が具体的に進められている。2019年12月20日の中医協総会において、**2つの患者属性に分けて薬学管理料の要件を決める**などの方向性が提案された。

II. 行政・技術関連情報

I. ブタ体内ですい臓作製

明治大学はブタの体内で **iPS 細胞** を使って人間のすい臓を作る研究を計画し、文部科学省に了承された。今回の研究ではすい臓ができないよう遺伝子操作したブタの受精卵にヒトの **iPS 細胞** を注入し子宮に戻す。その後胎児の中にヒトの細胞を含むすい臓が出来る。すい臓が完成する前に胎児を取り出し、ヒトの細胞がどれだけ含まれるかを確認する。

II. iPS 細胞で血小板作製

京都大学の研究チームは、ヒトの **iPS 細胞** にゲノム編集を施し輸血した際に拒絶反応が出ないようにした血小板の作製に成功した。ヒトの免疫細胞を持った特殊なマウスに投与したところ、拒絶反応は起きなかった。血小板は輸血された人の免疫の型が合わないと拒絶反応が起こるため、輸血を受ける患者の約 5%が拒絶反応で十分な効果が出ないと言われており、緊急時など特に拒絶反応の課題が大きかった。

III. 藍にインフルエンザ感染阻害効果

弘前大学と東北医科薬科大学の研究チームは、青森県内で栽培される「あおり藍」にインフルエンザの感染を阻害する効果を確認できた

と発表した。藍の葉から抽出した液体を混ぜて1時間経過した液体をインフルエンザ A 型ウイルスの培地にふりかけたところ、感染が確認できなかった。インフルエンザウイルスだけの場合は、培地の中で6千個の細胞に感染が見られ、10%のエタノールを加えた場合は千個の細胞に感染がみられている。

IV. 処方された抗生剤 6割が不要、自治医大

自治医大の研究チームは、2012年～2014年のレセプトから外来で処方された抗生剤のうち約6割がウイルス性の感染症など、効果が期待できない症状に使用されていたことが分かった。また、処方されている薬剤の75%は専門医らが推奨していない薬剤であった。抗菌剤が必要な症状は全体の8%にとどまっており、まだまだ適正使用が出来ていないことが明らかになった。

V. 救急搬送 22万人増

総務省消防庁によると、2018年の救急搬送は596万295人で、前年比22万4029人増加となった。症状別では軽症290万9546人、中等症が248万2018人で軽症と中等症が大半を占めていた。傾向としては高齢化が進む中で、循環器系疾患が増加している。

Ⅲ. 企業関連情報

I. ギリアド、エーザイとRAで提携

ギリアド・サイエンシズ・ジャパンとエーザイは、ギリアドが製造販売承認申請中のリウマチ治療薬でJAK1選択的阻害薬「フィルゴチニブ」に関して、日本での販売に関して提携したと発表した。同剤の製造販売承認はギリアドが保有し、販売をエーザイが担当、医療機関への情報提供活動は両者で実施する。

II. 「エンハーツ」米で発売

第一三共は、転移性の乳がんに対する治療として2つ以上の抗HER2療法を受けたHER2陽性の手術不能又は転移性乳がんの適応症で「エンハーツ」を米国で発売したと発表した。同剤は日本における独占権を第一三共が取得し、それ以外はアストラゼネカと共同で開発、商業化する権利を保有している。がん細胞に発現している標的因子に結合する抗体を介して薬物をがん細胞に直接届けることで薬物の全身曝露を抑えてがん細胞への攻撃力を高めた製剤である。

III. 大日本住友、新規作用機序の糖尿病薬申請へ

大日本住友製薬は、ミトコンドリアの機能を改善する独自のメカニズムを有してすい臓、筋肉、肝臓に作用しグルコース濃度依存的なインスリン分泌の促進や抵抗性の

改善、糖新生の抑制による血糖値抑制効果が期待される新規作用機序の開発品「imeglimin」に関して、日本では2020年度内に承認申請を行う考えであることを示した。同剤はフランスのポクセル社と共同開発している。

IV. バイオジェン、AD治療薬を日本で申請へ

バイオジェンジャパンは、早期アルツハイマー病治療薬として開発中の「アデュカヌマブ」に関して、2020年度に日本で申請する考えを示した。同剤は日本のほか、米国や欧州でエーザイと共同販促を行う予定である。同剤は抗アミロイドβ抗体であり、アミロイドβの除去が臨床上のベネフィットになることを実証する世界初の薬剤となる。

V. 中外製薬、社長交代

中外製薬は、プロジェクト・ライフサイクルマネジメント共同ユニット長の奥田修氏が代表取締役社長最高執行責任者（COO）に就任する社長人事を発表した。現社長の小坂達朗氏は代表取締役会長最高経営責任者（CEO）になり、現在の永山治会長は退任し名誉会長になる。新CEOとCOOの体制で意思決定を迅速にするとともに経営力の一層の強化を図る。就任は2020年3月下旬予定。

IV. 展望

I. 数字の限界

自動車雑誌などにブランドごとの故障率が載っているのを見ると、日本車が成績上位を占めていることが多く何となく誇らしい。故障率が低いから良い車だと評価するような記事もある。しかし、**故障率という消費者に分かりやすい数値に騙されてはいけぬ**。ドイツの高級車ブランドの中には、安い大衆車に比べて故障率が高いものも珍しくない。高級車には様々なハイテク装備が導入されている。**新しいものを真っ先に取り入れれば開発段階では予期できなかった不具合も生じる**だろう。このような新しい取り組みが故障率を引き上げる要因になるため、一概に故障率が低いから良い車とは言い切れないのだ。

分かりやすい数値が本当の性能を表さないケースは案外多い。デジタルカメラを買う場合、多くの人は画素数を気にする。2000万画素だとか、1億画素だとか。しかし、**カメラの本当の価値は明るさにある**。カメラで星空を映しても、肉眼で見たようには映らない。これはカメラが取り込める明るさが少ないからだ。普段あまり意識しないだけで、実は昼間の写真でも同じように明るさが完璧には取り込めていない。この取り込める明るさの量はカメラの性能によって異なり、高性能であれば肉眼により近い明るさが取り込める。もちろん価格も高くなる。1億画素のカメラが付いたスマホが

話題になっているが、それよりも2000万画素くらいで肉眼に近い明るさを取り込めるカメラの方が、はるかに良い写真を撮れて価格も高い。しかし、分かりにくい明るさの概念よりも画素数の方が訴求しやすく、デジタルカメラの性能としてこちらが全面に出ている。

男性用のスーツには、“SUPER”という**単位**がある。これは使っている羊毛の平均的な太さを示し、数値が大きいほど繊維は細くなり、しなやかで手触りの良い生地になると言われている。しかし、これは平均であって1本の長い糸でも場所により太さにバラつきがでる。良い生地は、このような場所による太さのバラつきが少なく、さらに栄養状態がよく良く白くつややかな羊毛から作られる。しかしこれらの情報は **SUPRE** の表記ではわからない。そのため高級な生地メーカーは良い羊を育てる契約農場を持っていたり、職人が厳しい目で仕入れをしたりしている。中には敢えて **SUPER** という表記をしない生地メーカーもある。数字は分かりやすい。客観的で比較ができる。そのためつい数字に注目してしまう。また分かりやすいので説明の際には数字を多用してしまいやすい。しかし、数字ではうまく伝えられない事もたくさんあるし、そこに重要な情報がいくつもある。情報を伝える側も受ける側も、数字の限界というものを理解することが重要だろう。
(武田)

V. 市場動向レポート

I. 医療の存在感

IR 構想と言っているが、実際はカジノ解禁といった方が理解しやすいだろう。年末年始にかけて汚職事案に発展して世間を騒がせている。この騒ぎを見ながら、気になったのが2020年度の診療報酬改定においてギャンブル依存症対策に点数をつけるという方針だ。世の中には多くの疾患があり、たくさんの患者さんが困っている。その中で、なぜギャンブル依存症に診療報酬点数をつける、つまりは様々な病気の中でも治療の優先順位を上げるという決断をしたのだろうか、医療の世界とは別の何かの影響があったのではないかと勘ぐってしまう。

他にも興味深いのが今回の診療報酬改定の大枠だ。本体部分の改定率は0.47%の引き上げだが、消費税を財源とした働き方改革に絞った部分として上乘せで0.08%、合計で前回と同水準の0.55%になった。医師会側は前回水準を確保できたと顔が立ち、一般市民にも、本質的な伸び率は抑えられたと説明できる。いろいろな思惑が詰まった結果になった。

後期高齢者の医療費自己負担比率に関しては、現時点で煮え切らない。自己負担率を引き上げる方針としているが、低所得者には配慮をするなど、条件を付けており具体的な内容が見えてこない。ストレートに実現すれば8千億円ほどの医療費抑制になるとも言われている。薬価引き下げよ

りも効果が大きいのははっきりしない。

1月14日時点でまだ衆院解散は決まっていないが、昨年暮れごろには2020年2月頃解散などと言う記事も見かけた。現内閣はいろいろな問題で追及されている。選挙を考えれば組織票のある医師会と投票率が高い高齢者層という有権者たちに敵対する政策を打ちにくく、報酬改定も両者の顔色を見ているようにも見える。

別に政策に異議を唱えるつもりはない。ただ、医療政策の決定過程で、患者さん中心ではなく、そのほか様々な分野の圧力の影響を大きく受けているのではと感じている。カジノ実現のため、解散総選挙の際の人気取り、他にも気が付かないだけで、様々な力が働いているのだろう。今、医療の世界はIT化を進めているが、これが大きなビジネスになるようなら、IT化に関する規制緩和と推進に関する強い力が海外から働くかもしれない。

医療は産業規模が大きくなった。財政に与える影響も大きい。また対処できる疾患が増えており、その点で利用価値が高まっているのだろう。産業規模も財政への影響も、パフォーマンスとしての利用価値も、患者さんには全く関係ないが、医療政策に影響を与える力がどんどん増えているように感じる。医療はますます、納得感のない政策に振り回されるのだろう。これからはその耐性が必要なようだ（武田）

薬経連ニュース2020年2月1日号

VI. 数字で見る医療提供体制（後発医薬品シェア 19年7月）

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	4月～9月			10月～3月	令和元年度		
		4月～3月	4月～3月	4月～3月	4月～3月	4月～3月	4月～3月		6月	7月	4月～7月	6月	7月	
	全 国	47.9	56.4	60.1	66.8	70.2	75.9	74.6	74.5	74.6	77.1	78.1	78.1	78.4
	北海道	48.3	57.2	61.6	68.1	71.6	77.1	75.8	75.8	75.8	78.4	79.6	79.6	79.9
	青 森	50.6	59.3	62.7	68.7	71.6	76.6	75.5	75.4	75.4	77.7	78.7	78.8	78.9
	岩 手	53.8	62.6	66.3	73.4	76.3	81.9	80.9	81.0	80.9	82.9	83.6	83.7	83.9
	宮 城	49.9	58.6	62.1	69.3	73.0	79.0	77.8	77.8	77.8	80.1	81.2	81.3	81.6
	秋 田	42.1	53.1	58.2	66.7	70.4	76.8	75.6	75.7	75.6	77.9	79.1	79.2	79.3
	山 形	53.1	62.9	66.1	71.6	74.4	79.9	78.8	78.8	78.9	80.8	81.7	81.7	81.9
	福 島	45.4	53.5	58.0	65.8	69.9	76.2	74.9	75.0	75.0	77.3	78.6	78.8	79.0
	茨 城	45.4	54.5	58.6	66.2	69.7	75.2	73.9	73.9	73.9	76.4	77.5	77.6	77.9
	栃 木	47.5	54.7	58.7	66.4	70.4	76.7	75.3	75.2	75.4	78.0	79.0	79.0	79.3
	群 馬	51.9	60.4	64.0	70.4	73.7	79.1	78.1	78.1	78.1	80.1	81.0	81.1	81.3
	埼 玉	49.9	58.1	61.4	68.1	71.4	76.9	75.6	75.6	75.7	78.1	78.9	79.1	79.3
	千 葉	49.2	57.2	61.1	67.6	70.8	76.5	75.2	75.2	75.3	77.6	78.6	78.7	78.9
	東 京	44.9	53.2	56.6	62.4	65.9	71.6	70.1	70.1	70.2	73.0	74.2	74.3	74.6
	神 奈 川	47.7	56.2	59.4	65.5	68.6	74.0	72.7	72.7	72.7	75.2	76.1	76.2	76.5
	新 潟	48.5	56.7	60.7	68.7	72.6	78.3	77.3	77.2	77.3	79.3	80.4	80.4	80.7
割	富 山	52.1	60.0	63.3	70.5	74.2	79.4	78.3	78.2	78.4	80.4	81.3	81.2	81.6
	石 川	49.0	57.8	62.3	69.2	72.7	77.9	76.8	76.7	76.6	78.9	79.5	79.4	79.8
	福 井	50.8	60.0	64.0	71.0	74.7	79.7	78.7	78.7	78.7	80.6	81.2	81.2	81.3
	山 梨	42.6	48.8	52.8	59.6	64.0	71.8	70.1	70.1	70.4	73.4	75.3	75.3	76.1
	長 野	51.6	61.2	64.7	71.1	74.0	79.4	78.4	78.4	78.4	80.3	81.0	81.0	81.2
	岐 阜	46.8	55.1	58.8	65.6	68.8	74.4	73.1	73.1	73.2	75.5	76.4	76.4	76.7
	静 岡	48.3	57.5	61.4	68.7	71.9	77.4	76.2	76.2	76.2	78.4	79.3	79.3	79.5
	愛 知	46.8	55.6	59.8	67.2	70.6	76.3	75.0	74.9	75.0	77.6	78.5	78.5	78.7
	三 重	49.0	56.9	60.8	68.3	71.6	77.5	76.2	76.2	76.3	78.6	79.2	79.1	79.4
	滋 賀	45.3	53.9	58.9	67.0	70.6	76.1	74.8	74.8	74.7	77.4	78.4	78.5	78.6
合	京 都	45.2	53.2	57.1	63.7	67.4	73.2	71.3	71.3	71.3	74.9	76.0	76.0	76.2
	大 阪	45.4	53.4	57.0	63.6	67.2	73.1	71.5	71.5	71.5	74.5	75.6	75.7	75.9
	兵 庫	47.2	55.9	59.6	66.1	69.4	75.0	73.6	73.6	73.7	76.2	77.2	77.2	77.4
	奈 良	49.9	57.6	61.1	66.4	69.1	74.2	72.8	72.7	72.7	75.5	76.3	76.3	76.4
	和 歌 山	45.3	52.0	56.3	63.2	67.1	73.3	71.6	71.3	71.8	74.9	76.1	76.2	76.4
	鳥 取	48.8	57.9	62.1	70.4	74.2	79.4	78.3	78.4	78.3	80.4	81.4	81.4	81.7
	島 根	50.4	60.8	64.6	71.5	74.8	80.3	79.2	79.2	79.2	81.3	82.3	82.3	82.5
	岡 山	50.2	59.4	62.5	69.1	72.2	77.8	76.7	76.7	76.8	78.9	79.7	79.7	79.9
	広 島	45.6	54.4	57.8	64.5	67.8	73.4	72.1	72.0	72.0	74.7	75.6	75.5	75.8
	山 口	49.1	58.6	62.6	69.5	72.6	78.2	77.1	77.1	77.1	79.2	79.8	79.8	80.0
	徳 島	39.6	46.8	50.4	57.1	61.8	68.5	66.9	66.8	67.0	70.0	71.2	71.2	71.3
	香 川	45.6	53.7	57.1	64.8	68.0	73.6	72.4	72.3	72.4	74.8	75.5	75.6	75.7
	愛 媛	45.8	53.7	59.5	67.7	71.0	76.8	75.4	75.3	75.4	78.0	79.0	79.0	79.3
	高 知	43.2	51.8	54.3	61.7	64.8	71.1	69.4	69.5	69.5	72.7	74.2	74.3	74.6
	福 岡	49.8	57.1	60.6	67.6	70.8	76.8	75.4	75.4	75.4	78.1	79.0	79.0	79.2
	佐 賀	48.7	57.7	61.3	68.8	72.2	78.8	77.6	77.4	77.5	80.0	80.7	80.8	80.9
	長 崎	48.9	57.3	60.9	67.8	71.6	77.3	76.0	75.9	76.1	78.5	79.4	79.3	79.7
	熊 本	52.0	59.6	62.5	69.5	72.5	78.4	77.1	77.0	77.2	79.6	80.9	81.0	81.1
	大 分	48.1	55.8	59.2	67.0	70.6	76.5	75.4	75.2	75.4	77.6	78.6	78.6	78.9
	宮 崎	51.3	60.3	64.4	72.0	75.3	80.5	79.6	79.5	79.7	81.4	82.1	82.1	82.4
	鹿 児 島	56.6	65.4	68.6	75.0	77.9	82.6	81.7	81.7	81.7	83.4	84.1	84.1	84.2
	沖 縄	63.9	70.3	72.8	78.3	80.8	85.5	84.8	85.0	84.7	86.2	87.1	87.2	87.4